



青森県立美術館サポートシップ倶楽部 共催展

# アートは美しくなければならない 潘逸舟

【会期】 2025年2月22日(土)～4月13日(日)

【料金】 一般700(560)円、大学生400(320)円、18歳未満および高校生 無料

※( )内は20名以上の団体料金

※※心身に障がいのある方と付添者1名は無料

【会場】 展示室1、J周辺 ※コレクション展2024-2内で開催

【共催】 青森県立美術館サポートシップ倶楽部



《波を耕す - 日本海》(2024) シングルチャンネルビデオ ©Ishu Han  
courtesy of ANOMALY

青森県立美術館の支援団体「青森県立美術館サポートシップ倶楽部」との共催により、潘逸舟(はん・いしゅ)の個展を、コレクション展2024-2内に開催します。

1987年中国・上海生まれの潘は、幼少期～思春期を青森で過ごし、現在は東京を拠点に活動するアーティストです。己の身体をベースにパフォーマンスや映像、写真、描画等の様々なメディアを用いて、社会と個人の間になりたつアイデンティティの動的なあり方について探求を続けています。本展では、潘が東北地方の海で自らを被写体として制作した映像作品《波を耕す ー日本海》(2024)とともに、中高生の頃に手がけた油彩画を紹介しします。油彩画のクラシカルに赤茶けた筆致の先で、波のまにまに無為な「耕し」を続ける映像中の潘の身体。ホワイトキューブから土の展示室を侵食する茶色の波。それらの全体は意図せぬ出会いにより分岐する潘のルーツの表象に留まらず、私たちが複雑で大きな流れの中にあつてなお、踏みとどまって抗うための力能としての政治的/美的形式を指し示すようです。多くの方に展示を体験していただければ幸いです。

※本展タイトルは高校生の潘が青森公立大学 国際芸術センター青森[ACAC]で出会い最も影響を受け、現代美術を志す大きなきっかけとなったパフォーマンス・アーティストのマリーナ・アブラモヴィッチによる作品タイトル《Art must be beautiful... Artist must be beautiful...》(1975)を想起させる意図のもと付けられています。

お問い合わせ | 〒038-0021 青森市安田字近野 185 tel: 017-783-3000 fax: 017-73-5244 www.aomori-museum.jp

公共交通機関 | ○青森駅…[青森市営バス]青森駅前(6番のりば)「三内丸山遺跡行き」乗車→「県立美術館前」下車(所要時間約20分)  
○新青森駅…[ルートバスねぶたん号]新青森駅東口(3番のりば)乗車→「県立美術館前」下車(所要時間約10分)

車のアクセス | ○新青森駅から約10分(徒歩約40分) ○青森駅から約20分  
○青森空港から約20分 ○東北縦貫自動車道青森I.C. から約5分  
○[八戸方面から]青森自動車道青森中央I.C. から約10分



青森県立美術館 ㊦  
AOMORI MUSEUM OF ART